

魚類の検査結果

H30(2018). 6. 26

栃木県農政部

今回の検査結果

天然魚

No.	魚種名	河川名	採捕地点名	検査結果(Bq/kg)			分析機関	採捕日	備考	
				判定	セシウム合計	セシウム134				セシウム137
1	アユ	思川	栃木市	適合	検出せず	検出せず(<4.2)	検出せず(<4.4)	4	H30.6.8	
2		永野川	鹿沼市	適合	検出せず	検出せず(<3.7)	検出せず(<5.2)	4	H30.6.14	
3		箒川	那須塩原市	適合	検出せず	検出せず(<4.9)	検出せず(<4.3)	4	H30.6.19	
4	ヤマメ	大谷川	日光市	適合	検出せず	検出せず(<3.9)	検出せず(<4.0)	4	H30.6.19	
5		箒川	那須塩原市	適合	検出せず	検出せず(<5.4)	検出せず(<4.4)	4	H30.6.19	
6	ニジマス			適合	検出せず	検出せず(<4.9)	検出せず(<4.4)	4	H30.6.19	
基準値(一般食品)					100 Bq/kg					

注1) ()内の数値は検出限界値であり、例えば「検出せず(<6.3)」は、放射性物質が存在しない又は検出限界値 6.3未満であることを示す。
 なお、検出限界値とは、測定において検出できる最小値であり、検体ごとの密度の違いなどにより同じ機器で測定しても、検体ごとに変わる。
 注2) セシウム合計値は、「食品中の放射性物質の試験法について(H24.3.15厚生労働省医薬食品局食品安全部長通知)」により、有効数字2桁で表示。
 注3) 分析機関【1:(公財)海洋生物環境研究所 2:(一財)九州環境管理協会 3:(株)静環検査センター 4:(一社)日本海事検定協会 5:いであ(株)
 6:(一財)日本冷凍食品検査協会 7:環境総合研究機構(株) 8:(公財)日本分析センター 9:株環境総合テクノス 10:(一財)日本食品分析センター 11:株総合水研究所 12:東北緑化環境保全(株) 13:ユーロフィン日本総研(株) 14:(一財)日本食品検査】